

## 機能的回復と症状改善をアウトカムとした際に突き当たる壁： 人間的リカバリーの重要な役割

この号では、重度精神疾患をもつ人たちの症状と生活機能のアウトカムを向上するために人間的リカバリー(personal recovery)が果たす大切な役割を掘り下げます。

新たにEUCOMS Networkのボードメンバーに加わったイタリアのAlessandra Martinelliさんがノルウェー、デンマーク、フィンランド、香港、米国の縦断的研究の最新の洞察をシェアしてくださいました。これらの研究が示していることは、従来の標準的ケア、症状、そして生活機能の改善はしばしば限定的であるということです。Alessandraさんは、単なる症状緩和に終わらない方策の必要性を訴え、生活の満足度、希望、自己決定、自己肯定感の達成に注力した人間的リカバリーに優先順位を置くことで、より全人的な視点をメンタルヘルスサービスに内包していく必要性を強調しています。このアプローチは、当事者の視点を入れ込むことと共同意思決定(shared decision making)を提唱し、症状緩和に留まらず成長や耐久力/回復力(resilience)、権限付与(empowerment)に対処するリカバリーを目的としています。

さらに、このニュースレターの原文(英語版)には11月21日にリスボンで行われる次回セミナーの登録リンクも掲載されています。すでに200人が登録しておりなるべく早めの登録をお勧めいたします。

また、次回ウェビナーの詳細も掲載しました。内容は刑務所内外でのピアサポート(peer support)の社会的価値についてです。

## Topics

Prioritizing Personal Recovery  
in Mental Health

Integrating Patient  
Perspectives in Treatment

Beyond Symptom Relief: A  
Holistic Recovery Approach

Seminar in Lisbon on  
November 21/22 on  
Sustainable Mental Health in  
the Community

November Webinar: Social  
Value of Peer Support in and  
out of Prisons



## Alessandra Martinelli

### MD Psychiatrist & PhD

Unit of Epidemiological and Evaluation Psychiatry, IRCCS Istituto Centro San Giovanni di Dio Fatebenefratelli, Brescia, Italy

「リカバリー（の定義）を広げる:メンタルヘルスのアウトカムに果たす人間的リカバリーの役割」

精神病のような重度精神疾患への早期介入（early intervention）について調べた縦断的研究（ノルウェー、デンマーク、フィンランド、香港、米国）の結果、症状緩和や生活機能の改善は人生に限定的な改善しかもたしていないことを明らかにしました。注意すべきは、改善は単にしばしば一時的なものか変動するものであり、その後の人生に悪影響をもたらす傾向があるとする複数の研究があることです。

人間的リカバリーは、精神疾患があっても意味のある人生を送ることに重きを置き、希望・自己決断・積極的参加・自己効力感・目的意識・自己肯定感などに着目しています。症状緩和と生活機能改善を目的としたリカバリーとは異なり、人間的リカバリーは、疾患を超えて人生の充足感を得、人生の目標を達成することを目指しています（Anthony, 1993）。重要な研究には当事者の意見を取り入れることが強く勧められます。過去のように専門家による症状評価に頼った研究ではよくありません（WHO, NICE guidelines, rehabilitation guidelines and programs of IRCCS Istituto Centro San Giovanni di Dio Fatebenefratelli）。

臨床現場においては、共同意思決定（shared decision making）を重視し、当事者や彼らを助けている人たち（care giver）の意見を取り入れることを優先すべきです。それは彼らの人権を尊重することでもあります。

メンタルヘルスサービスは人間的リカバリーをアウトカムとすることで、従来型の臨床と生活機能リカバリーのアプローチに加えて、有意義な人生の旅の支援を効果的に行えます。研究によると、人間的リカバリーは症状や認知機能障害が実生活に及ぼす影響を緩和する力を持っています。

人間的リカバリーは個人が人生の試練を乗り越え、人間関係を修復し、人生の希望・意味・目的を再発見し、烙印を取り除く大切な役割を果たしています。人間的リカバリーのビジョンは、サービスのアウトカムについても概念を拡大し、自尊心・能力障害への適応・権限付与・自己決断などの側面を含みます。人間的リカバリー志向型のメンタルヘルスシステムにおいては、必須サービスとして、「症状」リカバリーだけに着目せず、機能障害・機能不全・能力障害・不利益（impairment, dysfunction, disability, disadvantage）を改善する当事者がもつ潜在能力を分析すべきです。

完全な症状リカバリーがなくともリカバリーは起き得ます。そのようなリカバリーを遂げた人は、症状の悪化を時折経験しても、任務や役割の遂行（パフォーマンス）は顕著に回復し機会への障壁を取り除くことに成功して生きています。リカバリーの視点から見ると、個人の人生でのこのような成功は、新たな人生の意味と目的を育むことにつながっています。リカバリーに関する当事者の主観的経験と専門家の客観的経験が互いに補い合い、相互作用をもたらします。

統合失調スペクトラム症患者の人的リカバリー・症状の重症度・生活機能の3つの関係を研究した最近のメタ解析(Ponce-Correa et al., 2023)でも述べられているように、人的リカバリーと臨床症状との関係性を述べる際、いくつかの課題が存在します。当事者の感じていることと、臨床家のアセスメントとの間に乖離があることが明らかになり、当事者と臨床家とではリカバリーの評価基準が異なっていることが示されました。

このことは人的リカバリーを優先することの大切さを強調しており、新たな洞察を生み得ます。また、症状や生活機能の評価に加えて、当事者視点の評価に入れることの必要性を強調しています。重度精神疾患患者では、症状や生活機能にのみ着目することは最適なアウトカムをもたらさない可能性があります。すると治療とケアの目的は、症状寛解や生活機能改善ではなく、彼らの状況の如何にかかわらず彼らが充足した人生を送ることを可能にすることとなるでしょう。疾患にかかわらず充実した人生を送れているかを評価する事は異なる洞察をもたらします。

リカバリーは多面的な概念です。要は主観的リカバリーを評価する最適手段を開発することであり、それは従来の評価方法を補完するものとなります。

1990年代以降、人的リカバリーを評価する様々なツールが開発されてきました。そして、多くの人々がそれらのツールについて検討してきました。最も網羅的な検討は、ニューヨーク市の健康と精神衛生課のメンタルヘルス局のワーキンググループであるRecovery on the Groundによって行われました。

彼らはニューヨーク市内のメンタルヘルスサービスのリカバリー志向性の評価方法を見つけるためのプロジェクトを2013年に始めました。系統的研究を通して、当局は40のリカバリーの方法を見つけましたが、いずれも「ゴールドスタンダード」の認定条件を満たしていませんでした。

よって、妥当かつ信頼できるリカバリーの手段・評価をどれか一つ推奨することは難しいことが証明されました。しかし、彼らは複数の手段を統合したツールキット(Toolkit)を開発し、リカバリーの手段を個人レベルとプログラムレベルに分類しました。

これらの手段は様々な場面に生かされます。例えば、人的リカバリーの進捗評価・メンタルヘルスサービス・プログラムに（人的）リカバリーの原則がどの程度反映されているかを評価することに用いることができます。ある系統的研究はCHIME（Connectedness, Hope, Identity, Meaning, and Empowerment）の枠組みに沿って人的リカバリーの手段を同定し分析しました。彼らは13の人的リカバリーの手段を同定しましたが、CHIMEが提唱する心理測定の特長すべてを満たす手段は一つもありませんでした（Leamy et al., 2011）。

要約すると、人間的リカバリーのたった1つの手段があるわけではありません。むしろ、人間的リカバリーの多様な側面を図る様々な方法があります。中でも注目に値する2つの大事な側面は：①メンタルヘルスサービス内のリカバリー志向型アプローチを同定すること、②当事者の経験を認識し彼ら自身がリカバリーを評価できるようすることです。

結論として、研究者や専門家が精を出すべきことは心理測定を達成する唯一無二のツールを開発することではなく、主観的経験を測定する最良のツールを選び、現場のニーズや当事者の視点に合わせて人間的リカバリーに資し、それらの方法や結果を実践に統合していくことです。Slade and Longden 2015が示すように、わたしたちは当事者の一握りしか回復しないという信念から、多くの人たちが回復を遂げるという考えへ移行しなければならなりません。

そのためには、研究は当事者の意見に着目しなければならず、症状や生活機能面で臨床家を満足させる基準に到達していなくても、個々人は充足した人生を送れるということを認識する必要があります。このアプローチは、専門家によって判断される現状とは異なり当事者が自身のリカバリーの旅とその評価により関わりを持つことで、より良いアウトカムを将来にもたらすでしょう。

人間的リカバリーのアウトカムに対処することで、わたしたちは症状と生活機能のリカバリーに関する課題に立ち向かうことができます。そして、個人の強み・目標・全般的なウェルビーイングを強調した包括的パーソンセンタードモデルへと移行することができます。

## References

- Anthony, W.A., 1993. Recovery from mental illness: the guiding vision of the mental health service system in the 1990s. *Psychosoc. Rehabil. J.* 16 (4), 11–23. <https://doi.org/10.1037/h0095655>.
- Hansen, H.G., Starzer, M., Nilsson, S.F., Hjorthøj, C., Albert, N., Nordentoft, M., 2023. Clinical recovery and long-term association of specialized early intervention services vs treatment as usual among individuals with first-episode schizophrenia spectrum disorder: 20-year follow-up of the OPUS Trial. *JAMA Psychiatr.* 80 (4), 371–379. <https://doi.org/10.1001/jamapsychiatry.2022.5164>.
- Leamy, M., Bird, V., Le Boutillier, C., Williams, J., Slade, M., 2011. A conceptual framework for personal recovery in mental health: systematic review and narrative synthesis. *Br. J. Psychiatr.* 199, 445–452.
- Ponce-Correa, F., Caqueo-Úrizar, A., Berrios, R., Escobar-Soler, C., 2023. Defining recovery in schizophrenia: a review of outcome studies. *Psychiatry Research (Vol. 322)*. Elsevier Ireland Ltd. <https://doi.org/10.1016/j.psychres.2023.115134>.
- Suen, Y.N., Pang, S.W.T., Cheung, C., Wong, T.Y., Hui, L.M.C., Lee, H.M.E., Chang, W.C., Chen, Y.H.E., Chan, S.K.W., 2023. Impact of early negative symptom patterns on the long-term outcomes of patients with first-episode schizophrenia-spectrum disorders: a 12-year follow up study. *Psychiatr. Res.* 323 <https://doi.org/10.1016/j.psychres.2023.115180>.

Alessandra Martinelli

Unit of Epidemiological and Evaluation Psychiatry, IRCCS Istituto Centro San Giovanni di Dio Fatebenefratelli, Brescia, Italy

Corresponding author at: IRCCS Istituto Centro San Giovanni di Dio Fatebenefratelli, Via Pilastroni, 4, 25125 Brescia, BS, Italy. E-mail address: [amartinelli@fatebenefratelli.eu](mailto:amartinelli@fatebenefratelli.eu).

# Join us on 21 and 22 November in Lisbon

リスボンで11月21日と22日に行われる会議に皆様を招待します。

会議では下記の主題を取り上げます。

CMHTのトレーニングと実践、ポルトガルでのメンタルヘルス改革、グローバル社会での持続可能な健康とメンタルヘルス、グローバルメンタルヘルスと持続可能な開発、ヨーロッパ各国のCMHTの事例、革新的介入とコミュニティメンタルヘルスプロジェクトへの訪問、持続可能なリカバリー、ピアサポートとリカバリーカレッジの体験、家族の支援と家族の関わり、持続可能な包括、就労支援について、住居確保と社会的処方箋。

リスボンでお会いしましょう。

(恐れ入ります。登録リンクはEUCOMS Newsletter October本文からクリック願います。)

Joaquim Gago - *CMHT training coordination and member of Portuguese National Mental Health Coordination*

[Click here to register for the seminar](#)

The poster features a blue and white color scheme with a background image of a hillside town in Lisbon. At the top left is the EUCOMS logo, and at the top right is the logo for the Portuguese National Mental Health Coordination. The main title is 'SUSTAINABLE MENTAL HEALTH IN THE COMMUNITY' in large white letters. Below it, in smaller white text, is 'A EUCOMS Network and Portuguese National Mental Health Coordination Seminar'. The dates '21 - 22 November 2024' and location 'Lisbon, Portugal' are listed with icons. A hashtag '#LearningFromEachOther' is also present. A white button with the text 'REGISTER NOW' is at the bottom.

## Seminar agenda

### Sustainable Mental Health in Community

21 - 22 November 2024 | Lisbon, Portugal

#### Wednesday 20th Arrival Day

**Activities location: Fundação Oriente Museum, Lisbon**  
(Edifício Pedro Álvares Cabral, Doca de Alcântara - Norte -  
<https://www.foriente.pt/>)

#### Thursday 21st

- 09:30 **Opening Ceremony**  
**Miguel Xavier** – *President of the Scientific Council at NOVA Medical School, National Coordinator of Mental Health Policies in Portugal*  
**René Keet** - *Chair of EUCOMS Network, Directeur of FIT Academy, GGZ-NHN*  
**TBC** - *Representative of the Ministry of Health*
- 10:00 **Mental Health reform in Portugal: achievements and challenges**  
**Miguel Xavier** - *National Coordinator of Mental Health Policies*
- 10:20 **Training and implementing CMHT in Portugal: update and future directions**  
**Joaquim Gago** - *Psychiatrist Consultant, Psychiatry Teacher and Member of National Coordination of Mental Health Policies*
- 10:40 **Coffee break**
- 11:00 **CMHT in Portugal: research and follow-up**  
**Maria João Marques** - *Researcher at NOVA National School of Public Health, Member of the National Coordination of Mental Health Policies*  
**Diogo Francisco Rodrigues** - *Psychiatry Resident at ULS Lisboa Ocidental*
- 11:15 **3 CMHT in clinical practice: challenges, sustainability and development**  
**To Be Confirmed from Beja, Ourem and Viseu CMHT**  
**Feedback and discussion**
- 12:15 **Rene Keet, Manuel Franco, Miguel Xavier and Joaquim Gago**  
**Lunch**
- 13:00 **Sustainable health in a global world chaired by Caldas Almeida (TBC)**
- 14:00 **Sustainable health and environment - Luis Campos (Portuguese Council for Health and Environment)**  
**Sustainable mental health - Tânia Dinis and Teresa Pereira - (ECOPSI)**  
**Mental health service working on sustainability - Freddie Ong (Advisor on property and sustainability, GGZ Noord-Holland-Noord)**

- 15:00 Sustainability of Mental health service in Lille: French local challenges  
*Alain Dannet (WHO Collaborating Centre in Mental Health, Lille Metropole)*
- 15:15 Sustainable community mental health teams  
Zamora “Reticular” mental health community model - *Manuel Franco (Universidad de Salamanca, Spanish National Health System)*  
CMHT in Netherlands - *Niels Mulder (Erasmus University, Dutch Psychiatric Association)*  
CMHT in Norway - *Tor Helge Tjelta (Norwegian Association for Mental Health & Addiction Care)*
- 16:15 First day comments and conclusions followed by city walk
- 19:30 Dinner and Cultural Activity
- 

### Friday 22nd

- 09:00 - 13:00 Visits to innovative community mental health projects and CMHT  
Participants are separated in 4 or more groups
- a) CMHT from Hospital Fernando-Fonseca
  - b) CMHT from ULSLO - West Lisbon / Oeiras
  - c) Social prescribing project and community involvement
  - d) MAAT Museum visit (near Tejo River) and innovative mental health interventions
- 13:00 - 14:00 Lunch
- 14:00 - 14:30 Questions and discussion about morning visits
- 14:30 - 15:30 Sustainable recovery  
Pilot peer support project in Portugal - *Manuela Silva (TBC)* and a Peer Support expert  
Recovery college experience - *Beverley Rose (Projectleader, Consultant, Researcher)*  
Families support and involvement (EUFAMI Portuguese representative)
- 15:30 - 16:30 Sustainable Inclusion  
Support employment - *Jaap Van Weeghel (Board Member at MIND, Emeritus Professor of TRANZO, Tilburg University)*  
Housing first - AIEPS (Portuguese NGO)
- 16:30 - 17:00 Coffee break
- 17:00 - 17:45 Feedback, proposals and closing remarks
-

# Peer support in- and outside of prisons

20 November 2024

19:00 - 20:30 CET

Zoom Webinar

Learning From Each Other Webinar Series

EUCOMSネットワークでは11月20日にウェビナーを開催いたします。タイトルは、刑務所内外でのピアサポートとその社会的価値です。北欧諸国における、生きた経験に基づいた視点とピアによる活動の良い実践例 (good practice) として取り扱います。刑務所内外での生活水準を上げるために、組織や個人が積極的に活動しています。このウェビナーは、わたしたちに、隔離された世界について洞察を与え、着想や望みを生みだし、ネットワーキングや社会的プロジェクト、財政資源について示唆を与えるでしょう。

ウェビナーのプログラム

オープニング

Thoodor Smith, member of Bataakadímían in Iceland or Recovery Academy.

「刑務所から出てきた男性たちが、互いに支え合うために開発したコミュニティ」

刑務所経験者から政策立案者へ

Guðmunur Ingi Póroddsson, Chairman of Afstaða (NGO)

20年前に刑務所経験者らが設立したNGOの軌跡を共有されます。ピアサービス、家族支援をどのように提供し、政策立案に関わったかをお話しされます。

ノルウェーの刑務所経験者のピアサポート

Johan Lothe, Managing Director of Wayback

ノルウェーの刑務所内外のピアサポートとWaybackについてです。

交換訪問:メンバーの同士の交換から得られた洞察

アイスランドとノルウェーのEUCOMSメンバーTraustur KjarniとErfaringsentrumとプロジェクトパートナー Sinnisbati (Faroe Islands)が、リトアニアへの交換訪問で得た視座を話します。この訪問はEEAの援助で成立しました。リトアニアの健康システムと刑務所のピアサポートについて理解を深めましょう。

歩を進めること:刑務所でのピアサポートネットワークの立ち上げ

Ann-Mari Lofthus post-doc at University Inland Norway and social entrepreneur (社会企業家)

北欧のピアサポートネットワークの開発プロジェクト、及びヨーロッパの方々との将来的協力関係の機会についてです。

[Click here to register for the webinar on November 20th](#)

## Upcoming on-location EUCOMS meetings

Sustainable Mental Health in the Community | Lisbon, Portugal

21 - 22 November 2024

Dealing with crisis. A community mental health response to natural disasters | Alexandroupoli, Greece

27 - 28 March 2025



## Upcoming EUCOMS webinars

Social value of peer support in and out of prisons

20 November 2024



[Click here to review the previous webinars](#)

## DO YOU WANT TO BECOME A PARTNER?

EUCOMSのパートナーになりたい方は登録できます！メンタル不調を抱える人々を支援するサービスを提供している個人や組織は私たちのパートナーまたはコラボレーターになることができます。詳しい情報はホームページをご参照ください。(英語版ニュースレター（原本）にはパートナー登録やウェビナー情報へのリンクが貼られています。よろしければぜひご利用ください。)

[CLICK TO SUBSCRIBE TO OUR EMAIL NEWSLETTER](#)

[CLICK TO JOIN OUR NETWORK](#)

Find us on social media:



Our mailing address is:

[info@eucoms.net](mailto:info@eucoms.net)

Copyright © 2024 EUCOMS Network. All rights reserved.